

## 学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生情報ビジネス専門学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

# 学校関係者評価報告書

麻生情報ビジネス専門学校

平成29年6月30日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 荒木 俊弘

## 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	- 7 -
基準 5 学生支援	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）	- 12 -
基準 9 管理運営・財務（本部）	- 14 -
基準 10 改革・改善	- 16 -

平成28年度  
(2016年度)

# I. 学校関係者評価の概要と実施状況

## 1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生情報ビジネス専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

## 3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 株式会社 サンレイズ
業界関係者	江添 俊明 (代理)	社団法人福岡県情報サービス産業協会 株式会社コア九州カンパニー
業界関係者	土井 隆徳 (代理)	社団法人福岡県情報サービス産業協会 株式会社ジャステック
業界関係者	荒井 秀和	Training Center Japan
業界関係者	馬場 伸一	NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム
業界関係者	芦原 秀一	株式会社ネットワーク応用技術研究所
業界関係者	高岡 宏光	三井情報株式会社
業界関係者	開 道雄・(高山様同席)	キーウェア九州株式会社
業界関係者	岡部 浩太郎	SCSK九州株式会社
業界関係者	竹末 雅輝	株式会社システナ
業界関係者	小畑 昌之	安川情報システム株式会社
業界関係者	金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社

業界関係者	白根澤 信孝	ユニアデックス株式会社
業界関係者	松尾 英一	一般社団法人 日本経営協会
業界関係者	大久保 英昭	看公税理士法人 黒岩公認会計士事務所
業界関係者	中川 宏	税理士法人 西方会計
業界関係者	小林 憲一	小林憲一税理士事務所
業界関係者	岩永 茂敏	リコージャパン株式会社
業界関係者	沖田 敏治	株式会社アイスリーラボ
業界関係者	菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム
業界関係者	松尾 聡子	株式会社バーズ・プランニング
業界関係者	下部 貴志	株式会社Flourish
業界関係者	堀 浩信	福岡市経済観光文化局
業界関係者	伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会
業界関係者	今井 翔太	エピック・ゲームズ・ジャパン
業界関係者	今治 智隆	株式会社ヴァイス
業界関係者	森 瞭維智	株式会社 FOREST Hunting One
業界関係者	矢野 修作 (代理)	株式会社ディーゼロ
業界関係者	小林 浩康	株式会社カラー
高校	大山 明	久留米市立 南筑高等学校
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	中園 晴久	株式会社藤本印刷
保護者	中西はるみ	

※区分別、順不同、敬称略

#### 4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 29 年 6 月 30 日（金） 15：00 ～ 16：00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 6 号館キャンパスホール

#### 5. 学校関係者評価方法

平成 28 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

#### ※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

## Ⅱ. 学校関係者評価内容

### 基準 1 理念・目的

#### 項目総括

学校の教育理念等については設立当初より明文化し、社会に対してはホームページにて公表している。本校の理念や目的は法人の理念を基に展開しており、当該年度の事業計画書や麻生塾ルールブックに掲載し各教職員で共有している。学生に対しては、学生便覧に掲載し共有、指導するとともに、グローバルシティズンベーシック教育(GCB 教育)を通して麻生塾の卒業生としてふさわしい態度や考え方を育むようにしている。

#### 主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・方針、目的についてその機会があり共有できている。
- ・カリキュラムへ GCB を取り組んでいることを評価する。
- ・入学時に学科の目的を理解させ転科を視野に入れた指導をしてもよいのでは。  
⇒ A0 フォローアップ講座(入学前講座)および入学説明会にて実施。

#### 中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

#### 小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教職員全員に配付しているルールブックに記載し、全員へ周知している。学生には、入学時に説明を行っている。

#### 小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生便覧に記載し、新入生オリエンテーション等の導入教育にて新入生全員に周知している。

#### 小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などは、職業実践専門課程での委員会において見直しが図られている。

#### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育目的や育人人材像については毎年の事業計画において検討、見直しを行っており、事業計画自体は本部の承認が必要なことから全体との整合性が取れている。

#### 小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育計画については文書化しており、年初にレビューすることで教員間で共有している。また Web サイトや印刷物等で社会に公表しており、パンフレットについては、年度毎の最新情報に更新している。

#### 小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科共に最低限の資源は確保しているが、より充実した資源が望まれる。

## 基準 2 教育の内容

### 項目総括

カリキュラムについては「顧客は企業である」という考えのもと、企業のニーズ、業界のニーズを把握するために企業対応の窓口である就職担当者の企業からのヒアリング内容やインターンシップ先企業からのコメント、卒業生が就職した企業からのアンケート結果も含めて教育課程編成委員会で検討を行い、その結果をカリキュラムとして作成している。カリキュラムは定期的に見直ししており、見直す際には全教員が集まっての検討会議を行なうことにしている。またカリキュラムはホームページを通じて社会に公表している。カリキュラム完成後は科目ごとにシラバス、コマシラバスの作成を行い、教育活動としての PDCA サイクルを回している。なおシラバスについては学生にも配布している。

### 主な課題及び改善の方向性

特に IT 分野については時代の動きが早く、流れに沿ったカリキュラムを作成して行く必要がある。

### ■学校関係者評価結果：適正

### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・逆インターンシップは社会人としての自身を持たせるいい機会と思う。
- ・教員と学生が一体となって取り組んでいることが理解できた。
- ・組織的にカリキュラムが構成され、柔軟、迅速にニーズにあわしている。
- ・入学を検討している対象者の資料は非常に分かりやすく出来ている。
- ・補講を 5 限目の時間に設定し、内容は習熟度に合わせ柔軟に対応しては、  
⇒ 放課後に学生に合わせた個別の指導を実施中。
- ・コミュニケーション、対話能力、ストレス耐性の向上を目的に内容を検討いただきたい。  
⇒ キャンパスライフサポートセンターを開設運用中。また、ストレス対処講座を計画中。
- ・人間関係強化を目的にアルバイトを推奨してはどうか。  
⇒ 業界アルバイト及び取引先企業からのアルバイトを斡旋運用中。併せてインターンシップを推進中。
- ・ものつくりの仕事では納期が最重要となる。仕事はなぜするのか基本的な教育を希望する。

### 中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

### ■学校関係者評価結果：適合

### ■自己点検・評価結果： S

### 小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

### ■自己点検・評価結果： S

### ■コメント

カリキュラムについては、職業実践専門課程での委員会において検討し、カリキュラム会議で見直しを図っている。カリキュラムは非常勤講師には講師会で共有するとともに、ホームページで広く公表している。

### 小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

### ■自己点検・評価結果： S

### ■コメント

カリキュラムおよびシラバスは修業年限分を文書化している。印刷物による配布など、学生に周知させる方法は、パンフレット、学生要覧、口頭説明で周知し有効・適切である。コマシラバスは各教員で作成しており、更なる充実を図っていく。

### 小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

### ■自己点検・評価結果： S

### ■コメント

教育課程編成委員会およびカリキュラム会議にて、顧客ニーズを反映しており、広報・就職担当者については定期的な会議で意見をカリキュラムに反映している。

### 小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直ししているか

### ■自己点検・評価結果： A

### ■コメント

科目毎のコマシラバスを作成し、教師間で共有している。又、各シラバスに実施状況の記録を残す事で整合性の確認を行っている。見直しについては実施状況の記録を元にカリキュラム会議で検証をしている。

## 中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

## 小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

授業アンケートの結果に基づき、必要に応じて教員に対しての指導を行い、改善策を検討している。改善したかどうかについては、ミニアンケートを活用して早期に判断ができるようにしている。

## 小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

検定取得を目指す教科を中心に、定期的に担当者間で会議を行なうことで改善に取り組んでいる。また授業見学や研修を通して改善活動がなされており、管理職にて計画を共有し、進捗管理している。

## 小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教員研修については全般的な分野を教育推進グループが担っており、必要な研修に参加することで能力向上を図っている。専門分野や担当分野については目標設定シートや業務遂行評価シートで状況を把握し、必要に応じて学外研修に参加することで能力向上を図っている。

## 中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

## 小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

それぞれの学科の専門性に即した企業との連携によりインターンシップを実施している。業界の特性によりインターンシップを取り入れにくい学科があるが、大学でも取り入れられている「逆インターンシップ」を行なうことで、社会で必要なスキルを理解させている。

## 小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

早期のキャリア教育として就職年次の前年に「就職実務」を取り入れることによりキャリアの発達を促している。さらに全学生に対して、シラバスに則った GCB 教育を実施している。1 年次、2 年次と段階を経た内容を行なうことにより、感謝心、志を持つ自立した社会人となることを目指している。

## 小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

新入生に導入前教育としてEラーニングを取り入れ、基礎学力の底上げを図っている。基礎学力テストや学力共通試験を実施し、学力の把握をしている。専門授業を行う際に支援が必要な場合は、補講という形でフォローしているが、担任を中心に行なっており組織的な動きにはなっていない。

### 基準 3 教育の実施体制

#### 項目総括

教員の採用に関しては複数回の面接と模擬授業を実施してもらって可否を判断しており、採用後は指導担当者を配置して OJT を行なっている。教員組織としては 3 分野に分かれての運営を行なっており、それぞれの分野に応じた運営を行ないつつ、各分野の情報共有を行いながら活性化させている。

学校として基本となる施設、設備については充実しており、かつ良好に管理ができています。安全確保についても十分に配慮している。

#### 主な課題及び改善の方向性

本校は IT に特化した学科を設置しており、進歩の早い IT 業界に対応した教員の継続的なスキル向上を心掛けたい。また設備についても同様に、常に現場に対応できる設備とするように心掛ける。

#### ■学校関係者評価結果：適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・教員、設備も充実しており評価できる。
- ・学校選定の教材以外の内容を理解させる為に図書館等での共通教材を整備しては。
- ・図書館の利用を予習復習の場として公開しては。  
⇒ 自由に利用できるチュートリアルルームを開設運用中。また、図書館の書籍についても教育支援本部と協議して充実させるよう取り組む。
- ・教員の現場実習や非常勤の指導能力をあげる研修をしては。  
⇒ 研修計画の内容を再検証する。
- ・書籍の選定については業界でよく利用されているものを選定いただきたい。  
⇒ カリキュラム会議にて検討する。
- ・視聴覚システムの整備をしては。  
⇒ プレゼン効果を高めるため学校全体でプロジェクタなどの視聴覚機器の導入を検討中。
- ・教員のリソースは重要な課題と思う。学校としてリソース確保の取り組みを期待したい。  
⇒ 教育支援本部主催で教員の教育力向上についての検討会議を実施中。

#### 中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

#### ■学校関係者評価結果：適合

#### ■自己点検・評価結果： A

#### 小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

#### ■自己点検・評価結果： A

#### ■コメント

本校は3分野に分かれての運営を行なっており、それぞれに責任者がいることで適切に運営している。各学科共に必要な資源は確保しているが、担当科目数の見直しなど、より充実した運営を行なう方針である。

#### 小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

#### ■自己点検・評価結果： A

#### ■コメント

日々の授業においては授業コマ毎の授業報告書にて情報交換をしている。前期末、後期末の年 2 回振返りのミーティングを行っている。

#### 中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

#### ■学校関係者評価結果：適合

#### ■自己点検・評価結果： S

#### 小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

#### ■自己点検・評価結果： S

#### ■コメント

教室管理委員会を中心として備品、設備の確認を行なっている。教室内の机、イス等についてはデータ化して管理している。不良箇所については定期的に点検し逐次改修をしている。

#### 小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

#### ■自己点検・評価結果： S

#### ■コメント

学外実習時には条件を記載した文書を元に、誓約書を作成している。又、学外実習実施前に事前研修を行い安全管理を含めた対策としている。学内実習については危険が伴うような実習を行っていないことから安全管理規定を作成していない。

## 小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

## 小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

求人票や企業情報を得る事ができる場所としてキャリアサポートセンターを設置している。又、専門職員による就職指導の場として利用している。

## 小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

姉妹校も利用できる総合的な図書室として設置をしている。それぞれの専門分野についてのコーナーも設置され、教職員、学生の利用ができる状態になっている。内容が古い図書がないように心掛けたい。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

## 項目総括

「質の高い教育サービスにより学生の付加価値を高め、顧客である企業の求める人材を育成し社会に貢献します」というミッションのもと、全てにおいてPDCA サイクルを常に意識しながら指導を行っている。

教育活動の成果としての成績、検定取得、退学者等の目標値については事業計画を年初に全教員にレビューしている。進捗状況については毎月、クラス運営報告書として各クラスの状況を報告し、その状況を定期的な学科会議、主任会議、検定担当で振り返っている。さらには月例会議にて学校全体で状況を共有すると共に進捗を確認し、軌道修正が必要なものについては修正を行っている。

生活指導、学習指導、就職指導の結果については学校ホームページで公表している。

卒業生の記録についてはデータベースで管理しているが、変更の都度に更新がなされていない部分もある。

## 主な課題及び改善の方向性

卒業後の早期退職、転職の状況を把握し、予防策として教育内容に盛り込んでいきたい。

■学校関係者評価結果:適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・達成度の自己評価は十分に行われている。
- ・教育目標を公開していることを高く評価する。情報の「見える化」を重要にとらえている。
- ・資格、就職、検定、コンテスト実績は高く評価できる。
- ・卒業生の就職先での評価を集約し学校評価委員会でも公開してほしい。  
⇒就職グループにて資料作成後公開検討。
- ・卒業生ヒアリングは1年後⇒5年後にしてみてもは。  
⇒1年後とあわせ3年後の評価を実施。
- ・実践的教育を強化希望する。  
⇒教育課程編成委員会での意見をカリキュラムに反映検討行う。

## 中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: S

=====



## 小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

目標数値は事業計画書に記載することで全教員が共通認識している。目標数値に対しての結果、状況は毎月のモニタリングシートで確認されており、当該シートを基に各分野、学科に落とし込んで対策立案や振り返りを行なっている。

## 小項目 4-1-2

適用除外

## 小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

検定試験やコンテストの目標値については事業計画書に記載しており、全教員が認識している。状況や結果については教科の担当者会議で共有を行っており、その中で見直し、対策立案を行っている。合格実績については検定結果報告書で上位者に提出し、必要に応じて担当者に指示を行なっている。さらに結果を振り返り、カリキュラムに反映させている。

## 小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

目標数値については事業計画書に記載し全教員が共通認識している。進捗状況については、毎月曜日に状況確認を行い、さらに学科ごとの月例会議にて受験状況の確認を行っている。学生個々の活動状況は逐次更新を行い、教職員で共有できる状態にしている。効果的な取り組みや参考事例については、就職研修と学科会議で共有し、質の向上に努めた。

## 小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

目標数値は事業計画書に記載し全教員が認識している。学生の生活状況については学科ごとでの月例会議にて確認を行っている。学生対応の記録としてガイダンス記録表を作成し、教職員間で状況の共有を行っている。退学者数については、学科毎に Web サイトにて公開している。28 年度は精神面、学力不足による不登校が主な原因による退学者が増えている。次年度に向けて、学生同士が繋がりをもちお互いに声を掛け合える関係ができる、クラス運営及び授業を実施する。

## 基準 5 学生支援

## 項目総括

本校には教務をサポートするキャリア支援本部、経営推進本部という組織があり、教育推進グループ、広報グループ、就職グループ、学生支援グループ、国際交流センターが入学前から卒業後までを横断的に支援している。また指導内容を含む学校情報は主に広報グループがホームページを通じて公表している。

基準4の学生指導の中には学生や保護者との面談も含まれており、カウンセラーとの連動など必要に応じた対応をとるよう担任や上位者が指導している。指導時には面談記録の提出が義務付けられており、学校全体で共有できている。

留学生や社会人、障がい者も受け入れており、即戦力となるように指導している。

## 主な課題及び改善の方向性

精神面での病気を抱えた学生や学習障害など学生が増加する傾向が見られ、教員の対応力を強化して行く必要がある。

■学校関係者評価結果：適 正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・一般学生、留学生含め組織的にバックアップできている。
- ・精神面での支援としてキャンパスライフサポートセンターの開設を高く評価する。
- ・卒業生向けの再就職支援システムがあることを高く評価する。
- ・卒業生に対して量的質的にフォローを知りたい。卒業生討論会などを検討してみても。  
⇒ 校友会にて検討を行う。
- ・保護者を取り込み学生のメンタル強化を希望する。  
⇒ 三者面談や就職保護者会及び、個別のガイダンスにて実施。

## 中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

## 小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

新入生の入学式後に行う面談の他、ガイダンス実施マニュアルに則って学生の状況に応じた面談を実施し、面談内容をガイダンス記録表に残している。

## 小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

計画的に相談会・面談を実施している。三者面談の内容を面談記録又はガイダンス記録に残している。年間計画(ターム表)をたて、実施している。

## 小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。

## 小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

スクールカウンセラーが週1日來校し、希望する学生の面談を行っている。カウンセラーへの相談方法は学生便覧に掲載している。

## 小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生便覧にハラスメントに関する内容を記載しており学生に周知している。ハラスメント委員が研修に参加している。

## 小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

## 小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

日々の生活指導、教科指導については担任を中心にサブリーダー、リーダー、副主任、主任にて対応しており、必要に応じて支援を行なっている。留学生の支援については国際交流センターを設置している。社会人、障がい者の就職については就職グループと共に支援をしている。最近ではメンタル面で支援を必要とする学生や学習障害等による支援を必要とする学生が増えており、教員のスキル向上を図る必要がある。

## 小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

課外活動にかかわる規定が文書化・公開されており、規定は学生に周知されている。

教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行なっている。

## 中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

## 小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 卒業生の就職先に対し、就業1年、2年、3年経過後の在籍状況のアンケートを実施している。

## 小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

## 小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 最新の情報を適正に発信、随時更新している。

=====

**基準 6 学生募集・受け入れ**

=====

## 項目総括

学生募集については広報グループ、学生支援グループを中心に教務や就職グループも加わり、募集内容の検討、見直しや選考を行っており、問題はない。

## 主な課題及び改善の方向性

少子化、大学との競合、就職順調、AO、18 歳人口減などにより学生募集について課題がある。  
よって大学では出来ない実践的な教育に取り組む必要がある。

■学校関係者評価結果：適 正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・適切な取り組みができています。
- ・募集要項にて的確な情報が公開されている。
- ・ハンディーがある学生も十分な支援が出来ていることを高く評価する。
- ・入学時の徹底した学科説明によりミスマッチが防げるため今後も強化してほしい。  
⇒ オープンキャンパス、AO フォローアップ授業、入学前ガイダンスにて実施。

## 中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

## 小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、アドミッションポリシーを明示している。

## 小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 高等学校を定期訪問するための専門職を置き、ニーズの把握、募集活動への反映に努めている。

## 小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット及び麻生塾 Web サイトに、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を実績に基づいた数値で明示している。

## 小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット及び麻生塾 Web サイトに、学科毎の育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示している。

## 小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、学費・教材費等を明示している。学費についてはキャリア支援本部と協議を行い妥当性のある金額にしている。教材費等については、各学科のカリキュラムに合致した教材等を教務で協議し妥当性、透明性のある金額にしている。

## 小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項及び麻生塾 Web サイトに、入学者の選抜方法を明示している。入学者選考は、入試実施マニュアルに沿って公正かつ適切に実施されている。実施方法・選考基準については募集要項作成時に経営推進本部と検証している。

## 小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集定員に則って適切に入学者を受け入れ、在籍学生数をMM資料(在籍学生数)にて管理している。募集定員については、教育内容、教育環境、業界の人材ニーズ等に対応した学科定員を毎年検討し、関係法令・施設の収容状況に応じた管理・運営をしている。

=====

基準 7 社会的活動

=====

## 項目総括

企業、地域、行政等と連携をとりながら社会的活動に力を入れている。この数年は地域貢献を目的とした企業とのコラボレーションも行われており、教育活動に役立てている。また、毎年 3 月に実施している「お仕事スタジアム」は高校生のみならず、大学生や中学生の参加もあり、地域貢献活動の一環となっている。

## 主な課題及び改善の方向性

地域貢献を目的とした講座の検討を行なう。

■学校関係者評価結果：適正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・ボランティア活動は高く評価する。
- ・お仕事スタジアムの取り組みも高く評価する。

- ・オープンキャンパスに地域住民一般社会人も参加させてみては。
- ・または、小中学生へのセミナーや公開講座を実施してみては。

⇒ オープンキャンパスへの小学生参加は受け入れているが今後社会人、地域住民への公開イベントも検討する。近隣の小学校には講座開催を打診中。

- ・産学連携や社会人講師の登用を積極的に行ってほしい。
- ⇒ 産学連携及び社会人講師の特別企画については実施中。

- ・学校近隣企業、商店街の課題解決をテーマに取り組んでみては。
- ⇒ 過去に近隣商店街をテーマにした卒業制作を行っている。今後も検討継続行う。

## 中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

=====

## 小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

事業計画に沿った内容でボランティア活動を推進しており、推進役として校務分掌にてボランティア委員会を設置している。毎月月初に行われる地域清掃に参加をしている。

## 小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

地域住民を対象にした公開講座を実施していない。近隣の小学校に職種理解セミナー等の実施に向けた提案をしており、実施に向けた検討をしている。

## 小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

職業実践専門課程の学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において企業や地域との連携を実施している。連携先は随時、見直すことにしている。毎年3月にお仕事スタジアムを開催し、職業紹介の講座を実施し、地域貢献の一助とした。

=====

基準 8 管理運営・財務(学校・各部門)

=====

## 項目総括

学校の管理、運営体制については経営推進本部が中心となって検討、実施されており、規程等の文書化も適切に行なわれている。非常時の対応については教員向けの訓練を行なっている。

## 主な課題及び改善の方向性

非常時の対応について随時見直しを行なう。

■学校関係者評価結果：適 正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・避難訓練等適切な管理体制が出来ている。
- ・学校規程を開示できるのか。避難方法等文書化されているものは開示してほしい。  
⇒ 避難方法のマニュアルは整備している、開示も可能。
- ・避難場所を確定した理由を知りたい。  
⇒ 近くて面積も大きく、移動への支障が最も少ないと判断し音羽公園とした。

## 中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行き、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議を定期的に行っており、担当者が参加している。27 年度からは部門会議を定期的に行っている。また部門を越えての情報共有を目的として、毎週 1 回の打合せを教務、就職、広報で行っている。

## 小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年度初めに行事担当、検定担当、授業担当などを作成し、教員に周知している。職務に必要なスキル向上については別途、人材育成の中で行なっている。

## 小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

教職員向けの避難訓練を定期的実施しており、マニュアルもその都度配布している。教職員向け防災マニュアルと学生向け避難訓練マニュアルは年度初めに更新している。全学年を対象とした避難訓練は実施しておらず、次年度の課題。

## 小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

個人情報保護の対象となる文書の一覧とその取扱いについて全教職員に配布し、処理を適切に実施している。

## 小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント委員により、ハラスメントに関する文書は全教職員に配布し、全教職員が意識して行動している。

## 小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

職員は年度初めに目標設定を行ない、教育推進グループが計画する学内研修に参加するほか、学外研修に参加するなど継続的に資質向上を図っている。研修参加時には研修報告書を提出するようになっている。

## 中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年度予算に従って管理運営が厳格に行なわれている。

## 小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

毎月部門長によって予算管理が行なわれている。

## 小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理規程を作成しており、適切に管理されている。

## 小項目 8-2-10 適用除外

=====

**基準 9 管理運営・財務（本部）**

=====

**項目総括**

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

**主な課題及び改善の方向性**

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

■学校関係者評価結果：適 正

**学校関係者評価 評価者のご意見**

- ・運営、財務、管理体制については評価できる。情報公開への課題対応が求められる。
- ・固定資産管理、個人情報管理評価が B であることが気になる。  
⇒年初に管理内容について全体会議にて共有する。

=====

**中項目 9-1**

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

-----

**小項目 9-1-1**

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

**小項目 9-1-2**

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

**小項目 9-1-3**

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

**小項目 9-1-4**

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

**小項目 9-1-5**

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

**小項目 9-1-6**

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

## 中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

## 小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

## 小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

## 小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

## 中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## 小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

## 小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

## 小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

## 小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

## 小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。



小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。

図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

=====  
基準 10 改革・改善  
=====

項目総括

自己点検については評価委員会を中心として活動しており、自己点検の結果については内部監査にて検証し、改善や見直しを行なっている。

主な課題及び改善の方向性

評価委員会にとどまらず、教務室全体で改善に取り組んで行く。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・自己点検からの改善活動を高く評価する。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： S

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

全教職員による自己点検と自己点検・評価委員会による評価・改善を行っている。今後は自己点検の質を高めていく必要がある。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

今年度は年度末に1回全教員による評価・点検を行なった。今後も全教員が評価ポイントを十分に把握した上で評価・点検、改善を実施する。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

内部監査による改善活動を行なっており、計画書に基づき検証を行なっている。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

内部監査の結果に基づき改善活動を行なっている。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

サイトで「自己点検・評価報告書」を公開している